

気温を見れば勝ち馬が分かる
～気象予報士が教える革命的データ～

「季節」が最も新しい競馬ファクター

毎年夏になると好走するハクサンムーンを管理する西園調教師は、まだ寒さが残る3月に行われたオーシャンS前にこのようなコメントを発していました。

「夏馬なので、寒い時期は体が寂しくなる。状態面も本物でなかった」

競走馬を管理する調教師も、その馬について夏馬・冬馬という認識をしていることが見て取れる一例です。この馬に限らず、厩舎関係者のコメントを注意深く見ると「暖かくなって上昇気配」「寒い時季は割引」といった類のものがお目にかかれます。

しかし、このように「夏に走る馬」「冬に走る馬」という言われ方が競馬界で一般的になってきたのはごくごく最近のこと。紙面にも「季節」を強調するタイトルが目立って増えてきました。ただ、データに裏付けされないキャッチコピー的な演出が多いのも事実、厩舎コメントになるのはごく一部の馬のみで、また一方でそれを鵜呑みにするのもどうかと思います。体系だったデータを用いてこそ、配当妙味の高い馬を選ぶことが可能となります。

「気候」「季節」を細分化する理由とは？

競馬天気では、より正確な気温データで競走馬の成績を区分するため、以下のように気温データをカテゴリ分けしています。

【気候分類】

- 12 度未満→寒
- 12 度以上～18 度未満→涼
- 18 度以上～25 度未満→暖
- 25 度以上～30 度未満→暑
- 30 度以上→酷暑

「寒」は12月中旬～3月上旬に出現し、寒さによって新陳代謝が抑制され冬毛が生えている時期と一致しています。寒さは、馬全般に調子を落とす要因ですが、馬によってはいつもの能力をフルに発揮できる馬がいます。そんな馬を探るため「寒」は12月中旬の最高気温（12度）を目安に設定しています。

一方、暑さによって負荷がかかる気温は、人間に置き換え、熱中症が急速に増える25度（夏日）を基準に「暑」としています。同じく、30度以上（真夏日）を「酷暑」と設定しました。

「涼・暖」はその間を分割したイメージです。この「涼・暖」に分割したことは、結構重要で、夏馬・冬馬を導くうえでの支援データになります。また、結果として気候の良い「涼・暖」限定で好走する季節馬を発掘することに結びついています。

ガルボの成績を気温データで分類

まずは、ガルボの気候分類別成績をご覧ください（2014年10月26日終了時点）

気候／寒【2-4-1-8】

気候／涼【3-3-1-3】

気候／暖【0-0-1-11】

気候／暑【0-0-0-4】

気候／酷暑【0-0・0-0】

注目は気候／暑～酷暑の部分。ガルボはこの気候分類で【0-0-0-4】。気候／暖成績【0-0-1-11】と合わせて、暖かい気候ではまったく走らない馬だということがわかります。

ガルボの気候別成績から言えることは、同馬が好走できる範囲は気候／寒～涼までに限定されるということ。12連対すべてが気候／寒～涼という極端に偏った戦績がそれを示しています。

暑いというイメージのある6月の函館スプリントSを制していますが、同じ6月でも東京・阪神とは異なり、涼しい北海道・函館は気候／涼が多く出現します（函館スプリントS時の気候は涼）。同じ6月であっても競馬場ごとの気候の違いに着目することで、気候面でガルボを狙えるかどうかを判断することができるというわけです。

実戦編 2014年マーメイドS (気温 29.0度、気候/暑)

【出走馬一覧】

1 枠 1 番 ウエスタンレベッカ (4 番人気)

2 枠 2 番 フロアクラフト (6 番人気)

3 枠 3 番 サイモンガーランド (14 番人気)

3 枠 4 番 サトノジュピター (8 番人気)

4 枠 4 番 ブリッジクライム (5 番人気)

4 枠 5 番 サンシャイン (9 番人気)

5 枠 7 番 アイムヒアー (12 番人気)

5 枠 8 番 カノン (11 番人気)

6 枠 9 番 フーラブライド (2 番人気) ← 3 着

6 枠 10 番 メイショウキラリ (10 番人気)

7 枠 11 番 アイスフォーリス (3 番人気)

7 枠 12 番 シャトーブランシュ (7 番人気)

8 枠 13 番 ディアデラマドレ (1 番人気) ← 1 着

8 枠 14 番 コスモバルバラ (13 番人気) ← 2 着

同じ牝馬限定のG I・ヴィクトリアマイルを目標にしていた馬にとって出走するメリットを見出しにくく、つかみどころのないレース。加えてこの時季暑さが増してくる6月阪神で行われるハンデ戦ということで、波乱決着が多い点もうなずけます。

また、斤量 50 キロの超軽量馬による出走が珍しくなく、その斤量に騎乗することができる限られた騎手の顔ぶれを見ると「せっかくだから使ってみた」と思ってしまうようなメンバー構成になることもしばしば。

そんなレース性質にあって、注目したいのが「6月阪神」という時季。上半期の総決算・

宝塚記念も行われるこの開催は、すでに夏競馬といっても差し支えありません。過去のマーメイドS激走馬を見ても、夏競馬に多く出現する気候／暑以上を得意とする季節馬の激走が相次いでいます。

そこでわたしが注目したのはコスモバルバラ。競馬天気の予想印で◎を打った馬ですが、そのときのコメントを記載します。

「1800～2000mで4勝しています。いずれも暖以上の暖かい時期です。寒～涼（00013）暖～酷暑（4127）典型的な季節馬です。前走変わり身見せており積極的に狙います」

コスモバルバラの前走は4月中山の野島崎特別。このときは気候／涼→暖の気候替りでの一変でした。前述の通り気候／暖以上になるとパフォーマンスを上昇させる馬ですから、気候／暑の6月阪神マーメイドSは気温データから絶好の狙い目だったというわけです。

このレースを制したディアデラマドレは戦前、気候／暑～酷暑で全3勝を挙げていました。人気馬の取捨においても、気温データを有効活用することができるのです（以下、三宅が実際に競馬天気で打った印&買い目）。

◎	14	コスモバルバラ
○	5	ブリッジクライム
▲	1	ウエスタンレベッカ
△	11	アイスフォーリス
△	13	ディアデラマドレ
×	7	アイムヒアー
注	9	フーラブライド

買い目

(3連単1軸マルチ)
14→5.1.11.13
(3連複1軸ながし)
14→5.1.11.13.7.9

いかがでしたか？

「気温を見れば勝ち馬が分かる～気象予報士が教える革命的データ～」では、さまざまな角度から詳しく気温データを解説し、実際の予想に役立てる方法もお伝えしています。

ぜひこの機会に、ご一読ください！

「気温を見れば勝ち馬が分かる～気象予報士が教える革命的データ～」

お買い求めはこちらから

<http://www.amazon.co.jp/dp/4865351310/>